

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年10月11日

計画の名称	湯沢市における快適で安全な生活環境及び水質保全の推進（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成32年度（3年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	湯沢市												
計画の目標	秋田県生活排水処理整備構想に基づいた事業を推進するとともに、快適で安全な生活環境の確保、自然環境の保全を推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,208	A	1,208	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H32末)
1	下水道処理人口普及率を42.3%(H30)から46.2%(H32)に増加させる。 下水道を利用できる人口（人）/総人口（人）	42%	45%	46%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
地域種別：過疎												

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
湯沢市下水道事業担当課により、事業実施状況・指標の達成状況の確認及び評価の実施	計画期間終了後（令和3年度）
	公表の方法 湯沢市のホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	湯沢市における快適で安全な生活環境及び水質保全の推進を図るため、下水道整備を行った結果、3年間で整備面積を16.6ha拡大し、下水道処理人口普及率をH30当初42.3%からH32末44.4%に増加する事が出来た。しかし、他事業との調整により、整備できない区域があったため、目標値に届かなかった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、計画期間内に整備できなかった区域の下水道整備を進める。 今後は、人口減少社会を見据えた適切な下水道計画に基づき、湯沢市における快適で安全な生活環境及び水質保全の推進を図る。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率	
	最終目標値	46%
	最終実績値	44%
		他事業との調整により、整備できない区域があったため、目標値に届かなかった。